

## ストーリーの構成文化財一覧表

| 番号                  | ふりがな<br>文化財の名称<br>(※1)                   | 指定等の状況<br>(※2) | ストーリーの中の位置づけ<br>(※3)                                                                                                 | 文化財の所在地 (※4) |
|---------------------|------------------------------------------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| (石づくりの戦国城下町と中世宗教都市) |                                          |                |                                                                                                                      |              |
| 1                   | いちじょうだにあさくら し いせき<br>一乗谷朝倉氏遺跡            | 国指定<br>(特別史跡)  | 計画的につくられた町全体が良好に残る戦国期最大の遺跡。遺跡内には町屋や武家屋敷など、発掘されたそのままの石垣や礎石を生かして当時の町並みを忠実かつ立体的に再現した復原町並があり、戦国時代の城下町の実像を体感することができる。     | 福井市          |
| 2                   | はくさんへいせんじ<br>白山平泉寺<br><br>きゅうけいだい<br>旧境内 | 国指定<br>(史跡)    | 奈良時代に白山を開山した泰澄によって越前側の登拝口に創建された山岳寺院で、一般的には平泉寺の名で知られる。境内には、発掘された石畳道や坊院の石垣が良好に残る。明治初年の神仏分離令により平泉寺の寺号を廃止し、白山神社となって今に至る。 | 勝山市          |
| 3                   | いちじょうだに こ え ず<br>一乗谷古絵図                  | 未指定<br>(歴史資料)  | 江戸末期の一乗谷の風景を描く古絵図。山城や有力家臣の屋敷跡や寺院跡など、戦国時代の城下町の構造物が 76 カ所も記載されている。                                                     | 福井市          |
| 4                   | はくさんへいせんじけいだいず<br>白山平泉寺境内図               | 未指定<br>(歴史資料)  | 中世の平泉寺を描いた古絵図。境内には、48 社、36 堂、6,000 の坊院が建ち並んだとされる。                                                                    | 勝山市          |
| 5                   | いちじょう いりえ<br>「一乗の入江」の<br>いしじきこう<br>石敷遺構  | 未指定<br>(遺跡)    | 船着き場や荷揚げ場の機能を果たし、川湊を持った流通拠点「一乗の入江」の一角とみられる遺構。川湊側は一段低く、表面に平らな石が積まれ、荷物を積み下ろしやすくなっている。                                  | 福井市          |
| 6                   | み の かいどう<br>美濃街道                         | 未指定<br>(遺跡)    | 国外への派兵や物資の移動など、朝倉氏の領国支配に重要な役割を果たした街道の一つ。越前から美濃へ続く街道沿いには朝倉氏家臣の屋敷跡も見られる。                                               | 福井市          |
| 7                   | あさくらかいどう<br>朝倉街道                         | 未指定<br>(遺跡)    | 朝倉氏の領国支配を支えた街道の一つであり、越前国内の各地を軍事的、経済的に結び付けた。街道沿いには朝倉氏の遺跡や伝承が数多く残されている。                                                | 福井市          |
| 8                   | あ ば かかいどう<br>安波賀街道                       | 未指定<br>(遺跡)    | 一乗谷と白山平泉寺を最短で結んだ古道で、街道沿いには朝倉氏家臣の城跡や石仏などが残る。                                                                          | 福井市<br>勝山市   |

|                 |                                                               |                |                                                                                                                                                                                       |            |
|-----------------|---------------------------------------------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 9               | く ず り ゆ う が わ あ す わ が わ<br>九頭竜川・足羽川・<br><br>いちじょうだにかわ<br>一乗谷川 | 未指定<br>(遺跡)    | 一乗谷や白山平泉寺に見られる巨石や交易の品々が行き交うなど、都市の繁栄に大きな役割を果たした。足羽川は九頭竜川水系日野川の支流であり、福井市街地を流れる。足羽山から切り出された笏谷石は船に乘せられ、九頭竜川を下り、三国湊から全国各地にも運ばれた。                                                           | 福井市<br>勝山市 |
| 10              | いちじょうだにあさくら し い せ き<br>一乗谷朝倉氏遺跡<br><br>しゅつどひん<br>出土品          | 国指定<br>(美術品)   | 一乗谷を発掘すると、土器・陶磁器などの遺物とともに多様な石製品が多数出土する。石材の多くは笏谷石であるが、一乗谷の奥に位置する浄教寺の砥山は近世期には全国的にも知られた、優れた砥石の産地であったことから、刃物を研ぐための中砥や仕上げ砥も出土している。                                                         | 福井市        |
| 11              | はくさんへいせんじしゅつどひん<br>白山平泉寺出土品                                   | 未指定            | 坊院は宗教的市施設であると同時に、僧侶の日常生活空間であったことから、坊院跡からは調理・食膳具などのほか、笏谷石製の行火なども見つかった。                                                                                                                 | 勝山市        |
| (近世城下町のまちづくりと石) |                                                               |                |                                                                                                                                                                                       |            |
| 12              | しゃくだにいし<br>笏谷石                                                | 未指定<br>(地質鉱物)  | 足羽山麓部の通称「笏谷」付近を中心に産出し採掘された火山礫凝灰岩。水に濡れると深い青色に変化するため「青石」とも呼ばれる、福井の名石。約 1,500 年前に継体天皇が発見し、採掘を指示したという言い伝えが残る。平成 11 年に採掘は終了したが、採掘坑道跡や露天掘り跡などが数多く存在する。なお、一乗谷の武家屋敷や町屋からは多数の笏谷石製の生活道具が出土している。 | 福井市        |
| 13              | きたのしょうじょうし<br>北ノ庄城址                                           | 未指定<br>(遺跡)    | 織田信長による朝倉氏滅亡後、織田家筆頭家老 柴田勝家によって築城された巨大城郭跡。笏谷石製の石瓦で葺かれていたとされる。                                                                                                                          | 福井市        |
| 14              | つ く も ぼ し<br>九十九橋                                             | 未指定<br>(建造物)   | 足羽川に架かる橋。かつては、半石半木という稀にみる工法でつくられた橋であり、江戸時代には全国的な名橋・奇矯として全国に広く知られていた。現在も、北ノ庄城址や福井市立郷土歴史博物館に当時の橋脚が残る。                                                                                   | 福井市        |
| 15              | ふくいじょうし<br>福井城址                                               | 未指定<br>(遺跡)    | 慶長 6 年から 6 年をかけて福井藩主 結城秀康が築城した福井城は本丸を中心に、二の丸、三の丸、四の丸と四重の堀に囲まれていた。笏谷石で造られた本丸の石垣と堀が今も良好に今も残る。                                                                                           | 福井市        |
| 16              | しばはらようすい<br>芝原用水                                              | 未指定<br>(文化的景観) | 結城秀康が北庄城（福井城）の大改修の際、飲料水確保を目的に造らせた上水路。底部には笏谷石の割石が敷き詰められ、両側にも笏谷石の石垣が整然と積まれていた。藩主別邸の御泉水屋敷（現 養浩館庭園）の泉水や城郭の堀への取水などにも使われた。                                                                  | 福井市        |

|                 |                                             |                             |                                                                                                                            |     |
|-----------------|---------------------------------------------|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 17              | たんがんだう<br>丹厳洞                               | 市指定<br>(史跡)<br>国登録<br>(建造物) | 足羽山山麓の笏谷石採掘跡地に建てられた、福井藩医 山本瑞庵が別荘として営んだ草庵。幕末には福井藩主 松平春嶽を初め、志士たちが密会を開いた場所として知られる。笏谷石の採掘跡の洞と庭園に当時の雰囲気が残る。                     | 福井市 |
| 18              | だいあんぜんじ<br>大安禅寺                             | 国指定<br>(建造物)                | 福井藩第4代藩主 松平光通によって明暦3年(1657)創建。本堂から300メートルほどの南西の山中には、笏谷石で造られた松平家歴代藩主の廟所である「千畳敷」がある。                                         | 福井市 |
| 19              | あすわやましゅうへん けいがん<br>足羽山周 辺の景観                | 未指定<br>(文化的景観)              | 足羽山山頂へと続く愛宕坂、百坂などの石段には笏谷石が使われており、周辺には笏谷石の採掘地跡が残る。また、足羽山およびその周辺には寺社が多く、鳥居や灯籠、踏石などに笏谷石が特に多く使われているなど、笏谷石文化の集積地となっている。         | 福井市 |
| 20              | しちりかべ<br>七里壁                                | 未指定<br>(遺跡)                 | 九頭竜川の中流右岸に見られる河岸段丘の段丘崖。江戸時代には崖の上の段丘面にある武家屋敷地区と段丘崖下沖積低地にある町家地区を区分した。この間にはいくつかの狭い坂がある。                                       | 勝山市 |
| 21              | きゅうかつやまじょうか<br>旧 勝山城下の<br>まちなみけいがん<br>街並み景観 | 未指定<br>(文化的景観)              | 江戸時代、七里壁の段丘上に沿ってつくられた勝山藩主 小笠原氏の城下町の旧市街地では今も城下町の風情を感じることができる。七里壁より下の段丘面で生活をしていた町人の行事として始まった「勝山左義長」は、300 年以上続く福井県下最大の左義長である。 | 勝山市 |
| 22              | おおしょうず<br>大清水                               | 未指定<br>(遺跡)                 | 勝山市の中心街地を形成する河岸段丘の最も低い段丘面から湧き出している湧水。この段丘面より高い位置にある段丘面の河川の水や雨水が地下に浸透したものである。                                               | 勝山市 |
| (石に現れた日本人の美と信仰) |                                             |                             |                                                                                                                            |     |
| 23              | いちじょうだにあさくら していえん<br>一 乗谷朝倉氏庭園              | 国指定<br>(特別名勝)               | 林泉式庭園の湯殿跡庭園、諏訪館跡庭園、南陽寺跡庭園、朝倉館跡庭園の特別名勝庭園を初め、遺跡内では15か所以上の庭園が確認されている。長らく土に埋もれていたため、石組は比較的よく原形を残し、室町末期の庭園様式を今によく伝えている。         | 福井市 |
| 24              | きゅうげんじょういんていえん<br>旧 玄成院庭園                   | 国指定<br>(名勝)                 | 室町時代末期に作庭された北陸地方に現存する最古の庭園と伝わる回遊式枯山水庭園。正面上段の築山には立石・伏石による石組が施され、築山前面に配置された枯山には枯滝とみられる滝石組や大きな自然石の出島などがある。                    | 勝山市 |
| 25              | ようこうかんでいえん<br>養浩館庭園                         | 国指定<br>(名勝)                 | 江戸時代「御泉水屋敷」と呼ばれた福井藩松平家の別邸の廻遊式林泉庭園。空間構成や石橋、景石等が江戸時代の大名庭園の様子をよく伝えている。                                                        | 福井市 |

|    |                                                    |             |                                                                                                      |     |
|----|----------------------------------------------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 26 | いちじょうだにあさくらし<br>一乗谷朝倉氏<br><br>いせき せきぞうぶつ<br>遺跡の石造物 | 未指定<br>(彫刻) | 笏谷石からつくられた石仏群は、西山光照寺跡や盛源寺などに数多く残り、その石仏・石塔（約 6,000 点）は一乗谷の繁栄ぶりを物語る。                                   | 福井市 |
| 27 | はくさんへいせんじ<br>白山平泉寺の<br><br>せきぞうぶつ<br>石造物           | 未指定<br>(彫刻) | 白山平泉寺旧境内には、廃仏毀釈などにより破損した石仏が点在し、戦国時代、僧侶の墓地であった平泉寺墓地には、平泉寺を再興した顕海和尚など住職の墓のほか、400 年以上前の石仏・五輪塔などが混在している。 | 勝山市 |

(※1) 文化財の名称には振り仮名を付けること。

(※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること（例：国史跡、国重文（工芸品）、県史跡、県有形、市無形、未指定(建造物)、等）。なお、**未指定であっても文化財保護の体系に基づいた分類を記載**すること。

(※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること（単に文化財の説明にならないように注意すること）。

(※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること（複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること）。